

文化庁メディア芸術祭 中国・廈門展2018「CHARACTER」を開催

企画ディレクターに川村元気氏を迎え、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に4つの展示と上映プログラムを実施。RhizomatiksやAR三兄弟が参加。



©Rhizomatiks

【閩南大戲院（中国・廈門）】

このたび文化庁は、2018年3月6日(火)から3月11日(日)までの6日間、「文化庁メディア芸術祭 中国・廈門展2018『CHARACTER』」を中国・福建省廈門市の閩南大戲院にて開催いたします。本展は、企画ディレクターに川村元気氏を迎え、「CHARACTER」をテーマにして選定された受賞作品を中心に、様々な展示方法や演出によって紹介します。その中でも今回は、RhizomatiksやAR三兄弟が参加。会場である閩南大戲院に合わせたオリジナルのアプローチを展開することは、受賞作品が現地での展示を通じ新たな形となっていくという試みです。2018年は日中平和友好条約締結40周年にあたります。メディア芸術作品の紹介とそれらの鑑賞体験が、中国と日本との文化交流の架け橋となることを願っています。

文化庁メディア芸術祭 中国・廈門展2018「CHARACTER」開催概要

期 間：2018年3月6日(火)～3月11日(日) ※3月5日(月)に内覧会を実施。

上映プログラム：3月6日(火)、9日(金)、10日(土)

会 場：閩南大戲院(廈門市思明区会展北片展鴻路87号 中華人民共和國 361001)

●開場時間 10:00-18:00 ※最終入館 17:30 ●会期中無休

入場料：無料

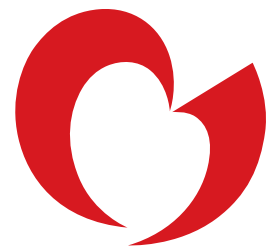
主 催：文化庁、中国对外文化集团公司

運 営(中国)：中国对外演出公司、閩南大戲院

協 力：日本通運株式会社、株式会社スタジオエビスほか予定

事務局：公益財団法人画像情報教育振興協会(CG-ARTS)

※日中平和友好条約締結40周年認定事業



日中平和友好条約締結 40周年

問合せ先

文化庁メディア芸術祭 中国・廈門展2018「CHARACTER」事務局[CG-ARTS内]

Email : jmaf@cgarts.or.jp Tel : 03-3535-3501 Fax : 03-3562-4840

※受付時間：平日10時～18時

〒104-0061 東京都中央区銀座1-8-16

■ 展覧会企画ディレクター：川村 元気(かわむら げんき)



1979年生まれ。『電車男』『告白』『悪人』『モテキ』『おおかみこどもの雨と雪』『寄生獣』『バケモノの子』『バクマン。』『君の名は。』『怒り』などの映画を製作。2010年、米The Hollywood Reporter誌の「Next Generation Asia」に選出され、翌2011年には優れた映画製作者に贈られる「藤本賞」を史上最年少で受賞。映画『君の名は。』は観客動員1900万人、興行収入250億円を超える大ヒットとなり、アジア各国で歴代の日本映画の最高興行収入を記録。欧米においても、ロサンゼルス映画批評家協会賞・長編アニメーション賞、シッチェス・カタロニア国際映画祭・最優秀長編作品賞を受賞し高く評価された。2017年、『LOST』『スターウォーズ』のJ.J. エイブラムスのプロデュースでハリウッドにて実写映画化が決定し、当プロジェクトに日本人プロデューサーとしての参加が発表された。小説家としては、2012年には初小説『世界から猫が消えたなら』を発表。同作は140万部突破の大ベストセラーとなり映画化された。2014年には、絵本『ムーム』を発表し、同作は『Dam Keeper』にて米アカデミー賞にノミネートされた、Robert Kondo&Dice Tsutsumi監督によりアニメ映画化され、現在32の国際映画賞を受賞している。その他の著書として小説『億男』『四月になれば彼女は』、絵本『ティニー ふうせんいぬのものがたり』『パティシエのモンスター』、対話集『仕事。』『理系に学ぶ。』『超企画会議』など。本年は、3月公開の『映画ドラえもん のび太の宝島』脚本をつとめ、小説『億男』が大友啓史監督により映画化され秋公開予定。

■ 展覧会テーマ 「CHARACTER(キャラクター)」

本展覧会のテーマは「CHARACTER」です。性格、特徴、人格、地位、登場人物、文字など、さまざまな意味があるこの言葉に、「インターネットと現実が接続されていくこの世界において、人間とはいかなる存在なのか？」というメッセージが込められています。アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガを「CHARACTER」というフレームを通して、人間の存在のあり方に迫ります。

●文化庁メディア芸術祭について

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度(1997年)の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

●「海外メディア芸術祭等参加事業」について

文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。「海外メディア芸術祭等参加事業」は優れたメディア芸術作品を海外へ発信するため、海外におけるメディア芸術関連のフェスティバル・施設において、文化庁メディア芸術祭の受賞作品の展示・上映・プレゼンテーション等を実施しています。

展覧会ウェブサイト

www.mediaarts-xiamen.com

文化庁メディア芸術祭公式ウェブサイト

j-mediaarts.jp

Facebook

www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival

Twitter

@JMediaArtsFes

問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 [CG-ARTS内]

E-mail: jmaf@cgarts.or.jp

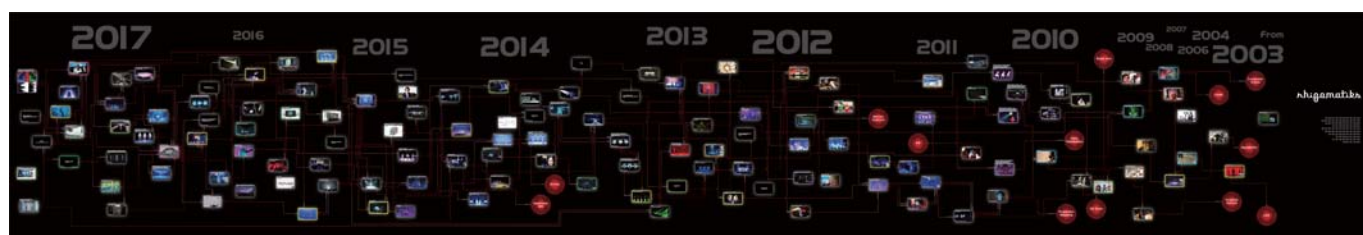
Tel: 03-3535-3501 ※受付時間: 平日10時~18時

■ 展覧会構成と作品詳細

本展覧会は、テーマ「CHARACTER」に基づき、Rhizomatiks特集展示、松本大洋特集展示、そして『Pokémon GO』× Rhizomatiks、『君の名は。』× AR三兄弟という4つの展示と、劇場アニメーションや短編映像等の上映を行います。

■ CHARACTER 1 Rhizomatiks特集展示

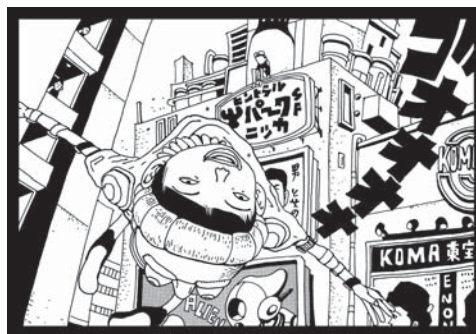
第16回、第17回エンターテインメント部門の大賞をはじめ、文化庁メディア芸術祭で数多くの受賞や審査委員会推薦作品に選出されてきた真鍋大度・石橋素らが所属するRhizomatiks(ライゾマティクス)は、技術と表現の新しい可能性を探求し、多様なコラボレーションワークを実践しているクリエイティブチームです。彼らの膨大な作品を表現技術ごとにまとめ、その軌跡を壁面にグラフィックを用いて紹介します。また、パフォーマンス作品の演出、プロモーションビデオやインスタレーション作品などの映像と、それらの制作で実際に使用された装置などを展示します。



©Rhizomatiks

■ CHARACTER 2 松本大洋特集展示

様々なテーマで、体と心を躍動させる少年たちを描いてきた松本大洋は、娯楽性と実験性を兼ね備えた稀有なマンガ家です。高度な世界観の構築、登場人物の繊細な内面描写、独特なコマ割りや空間表現などで、マンガ表現に多大な影響を与え続けてきました。本展では第20回マンガ部門で優秀賞を受賞した『Sunny』をはじめ、代表作である『ピンポン』『鉄コン筋クリート』の作品ページを壁一面に拡大展示し、その独創的な世界を体感できます。また、アニメーション化された『ピンポン』『鉄コン筋クリート』のダイジェスト映像と、今回特別に制作した『Sunny』の紹介映像も展示します。



©Taiyo Matsumoto/Shogakukan

■CHARACTER 3『Pokémon GO』× Rhizomatiks

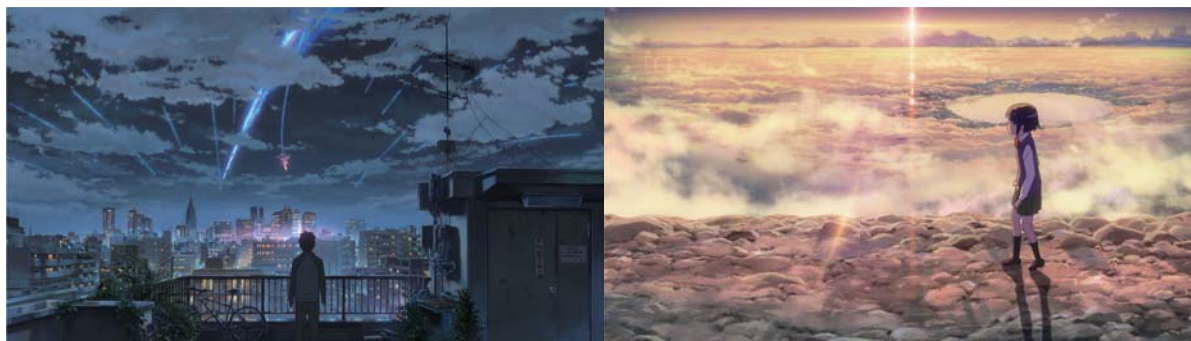
第20回エンターテインメント部門優秀賞を受賞した、位置情報を活用したスマートフォン向けゲーム『Pokémon GO』。第20回受賞作品展に引き続き、今回もRhizomatiksによる演出で展示されます。会場ではスクリーンに映し出されたポケモンに向かって実際に「モンスターボール」を投げることで『Pokémon GO』の世界を体験することができます。



©2018 Niantic, Inc. ©2018 Pokémon.
©1995-2018 Nintendo/Creatures Inc. / GAME FREAK inc.

■CHARACTER 4『君の名は。』× AR三兄弟

大ヒット劇場アニメーション作品『君の名は。』。本作を監督した新海誠は、優美な自然や、リアリティに富んだ街並みの風景描写で知られているだけでなく、鑑賞者が思わず感情移入してしまうような、登場人物の「すれ違い」や「出会い」などを、丁寧に描くアニメーション作家です。第20回アニメーション部門の大賞を受賞した本作が、拡張現実 (AR) を活用したアプリケーションなどを手がける開発ユニット「AR三兄弟」による演出で、展示されます。前後に配置された2枚の大型スクリーンに劇中の美しい映像が立体的に映し出され、作品のワンシーンに入り込んだような感覚を体験することができます。



©2016 TOHO CO., LTD. / CoMix Wave Films Inc. / KADOKAWA CORPORATION / East Japan Marketing & Communications, Inc. / AMUSE INC. / voque ting co., ltd. / Lawson HMV Entertainment, Inc.

■上映作品 (予定)

新海 誠『君の名は。』(第20回アニメーション部門大賞)
長井 龍雪『劇場版 あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』(第17回アニメーション部門審査委員会推薦作品)
新房 昭之『劇場版「魔法少女まどか☆マギカ」前編 始まりの物語』
岩井 俊二『花とアリス殺人事件』(第19回アニメーション部門優秀賞)
マイケル・アリアス『鉄コン筋クリート』
堤 大介／ロバート・コンドウ『ムーム』(第20回アニメーション部門新人賞)
水尻 自子『布団』(第16回アニメーション部門新人賞)
久野 遥子『Airy me』(第17回アニメーション部門新人賞)
奥山 雄太／柳沢 翔／麻生 峻司『GRAVITY CAT 重力的眩暈子猫編』
ユーフラテス『新しい生物』(第16回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品)
DAOKO×米津玄師『打上花火』
新海 誠『RADWIMPS「スパークル新海誠Ver.」』